

平成29年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

野庭地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

1 全事業共通

地域の現状と課題について

<地域の現状>

担当エリア地域では、

- ・高齢化率が30%以上に達しています。
- ・単身、高齢者世帯の方が増加しています。
- ・認知症一人暮らし世帯の方が増加しています。
- ・認知症の方其々に個別性を求められる支援が多くなり、社会状況の変化に伴い、複数、問題を抱えたケースの対応に、専門職として関わり、社会的資源を有している地域住民や支援者、各関係機関との連携の下、問題解決を図るネットワークづくりに、「野庭地域において身近な福祉保健の拠点」としての役割を果たしています。

<地域の課題>

- ・高齢者夫婦、認知症世帯、独居等の増加で、介護保険事業者・近隣等からの安否確認の問い合わせが増えていること。
- ・困難を抱えた対象者や家族等が引き起こす地域・近隣とのトラブルが年毎に増加していること。
- ・深い問題、課題のある個別相談が増えており、各関係機関・関連団体との緊密な連携が必要。
- ・地域活動を担う役員、住民、ボランティア等の高齢化で、支援者の減少や後継者が不足していること。

(1) 総合相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・ケアプラザが高齢者・子ども・障がい等の様々な方の相談窓口であることをPRしていきます。
- ・自主事業や地域に出向いた際にも相談対応、情報提供に努めていきます。
- ・相談内容や出前講座、自主事業等の参加者ニーズを把握・分析して、地域の特徴や課題を見出し、窓口相談や地域への情報提供の際に活かしていきます。
- ・必要な制度施策・社会資源等の情報把握に努め、相談者への適切な情報提供、支援に繋げていきます。
- ・地域活動情報誌の有効活用に努め、適宜相談者や関係機関・関係団体へ情報提供していきます。
- ・地域の身近な福祉保健の拠点として、来館者とのコミュニケーションを大切にしていきます。

(2) 各事業の連携

- ・5職種が其々の業務、立場から捉えた幅広い地域情報の共有に努めていきます。
- ・5職種が地域課題の解決に向けて、連携・協力し業務、自主事業の展開を図っていきます。
- ・「見守りネットのば」「のばあんしん登録」事業において、5職種の役割を活かし、見守り活動の重要性を普及啓発し、地域の見守り活動がより活性化できるよう努めていきます。
- ・「のば元気のちかみちネットワーク」「団暖会ぽかぽかハートネットワーク」事業に5職種で連携し取り組んでいきます。
- ・地域支援や個別支援から見えてくる課題を5職種で共有し、地域ケア会議等を通してその課題を発信し、地域でできる支援、地域力の育成を共に考え行動できるよう支援します。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・ケアプラザ常勤職員の適正配置に努めていきます。
- ・研修委員会を中心に職員研修の年間計画を立案し、研修を開催していきます。
- ・職員による事例研究活動を行っていきます。
- ・地域の福祉保健の拠点として、利用者、事業者への公正で中立性の高い事業運営に努めていきます。
- ・職員の労働災害防止と快適な職場環境の整備、職員の安全と健康の確保に努めていきます。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・港南ひまわりプラン及び各地区（野庭住宅、野庭団地、永野）の地福計画の2年目推進、実行の支援に努めていきます。
- ・未連も含む単位自治会町内会程度の状況を情報交換・把握できる場を設けて地域ニーズ、課題を探っていきます。
- ・「見守りネットのば事業」「のば子ども食堂」が港南ひまわりプランの観点からも地域がつながるきっかけになることを5職種で共有し新しいネットワークの構築に努めます。
- ・「のば元気のちかみちネットワーク」を展開し野庭地域の介護予防活動の拡充に取り組みます。

(5) 区行政との協働

- ・ 港南ひまわりプランに関して、地域住民・活動団体の方々が、其々の立場でできることを支援し地域のつながりや支えあいのネットワークが充実するように区役所と連携して推進していきます。
- ・ 各地区（野庭住宅、野庭団地、永野）の区役所担当職員と定期的に地域に関する情報や支援の方向性の共有を図り、地域支援・個別支援に活用していきます。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

地域や利用者のニーズ、要望等に応じた自主企画事業の実施

- 高齢者支援事業
健康づくりや外出支援、セカンドライフ支援、ボランティア育成支援等を目的とした事業の開催
- 子ども、子育て支援事業
 - ・ のばこども食堂の開催支援
 - ・ 親子の交流、憩いの場の提供
 - ・ ママさんの健康保持の為の支援
- 障がい者[児]支援事業
 - ・ 港南なつつこ、港南ふゆっこの開催支援
 - ・ こうなん来夢への販売の場の提供
- 地域との交流を大切にした行事の開催
- 地域の福祉保健活動事業への参加

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 貸し館登録団体Ⅰ（福祉保健活動団体）が定期的、継続的に活動できる場を提供していきます。
- ・ 貸し館登録団体Ⅱ（福祉保健協力団体）が地域やケアプラザで地域貢献、ボランティア活動できる場をコーディネートしていきます。
- ・ 貸し館利用を積極的にPRし、利用促進の取組みを行っていきます。
- ・ 貸し館登録団体がお部屋を快適に利用できる環境づくりに努めていきます。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ ボランティア支援育成として、「団暖会・ぽかぽかハートネットワーク事業」を包括、生活支援コーディネーターと連携し行っていきます。
 - 地域の皆さん・ボランティアの皆さんのできること、やりたいことを一緒に考え、地域で活躍できる場や機会をつくります。
 - ボランティア育成の為の勉強会を開催します。
 - ボランティア同士の交流、仲間づくり、情報共有が行える交流会を開催します。
- ・ 学校の福祉教育に協力していきます。
- ・ 子ども達を地域の一員としてとらえたボランティア精神の醸成に努めていきます。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・貸し館ルール改正に伴う新規登録団体の活動内容をまとめた一覧表を作成し、地域の方々・来館者に適宜、情報提供していきます。
- ・包括、生活支援コーディネーターと協働で、地域の方々の暮らしに役立つ情報を提供していきます。
- ・ケアプラザ広報紙の6回/年発行。
- ・野庭地域ケアプラザ便り（カレンダー等）を1回/月発行。
- ・HPの1回/月更新。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・5職種で目標・目的を共有し、それぞれの専門性を活かしながら各種事業の共催をはじめ、業務における協働に努めます。
- ・生活支援コーディネーター連絡会を中心とした機会を活用し、区役所・区社協・他ケアプラザと事業の推進に関わる情報共有を行います。
- ・「港南区版生活支援コーディネーター普及パンフレット」を活用し、自身の取組や生活支援の必要性を発信します。
- ・広報誌「野庭の風」に生活支援体制整備事業や地域資源の情報についての情報を毎月掲載し、幅広い層への周知を行います。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・総合相談、相談票やヒアリング等を通して、地域の高齢者の生活実態・個別ニーズの把握に努め、生活課題の改善方法の検討・開発に繋がります。
- ・住民主体の地域活動、事業所や企業との関係作り・ネットワークづくりを進めながら、サービス・活動の情報収集を行います。
- ・把握した地域の活動情報、インフォーマルサービス等の情報について、職種間でも共有を行い適切な地域への還元方法を検討していきます。
- ・地域ニーズに即した情報提供のため、既存の刊行物を活用する他、新たな情報提供媒体の作成・活用の検討を行います。

(3) 連携・協議の場

- ・昨年度の「のば元気のちかみちネットワーク研修会」から発足した協議体メンバーを主な対象とし、地域づくりに関する研修会を継続して開催します。
- ・上記の研修会を通し、地域に即した資源・サービスの開発が行える様、検討・支援します。
- ・地域づくりを考える「出前講座」を提案し、地域主体の協議の場づくりの支援を行います。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・担当圏域を超え、生活圈域を意識した資源・サービスの情報把握に努めます。
- ・地区支援チーム会議や各種連絡会などを通し、広域の課題・情報を共有します。
- ・港南区地域福祉保健計画「港南ひまわりプラン」や地区別福祉保健計画の推進にあたり、生活支援の充実した地域づくりを意識した支援を行います。
- ・連合未加入の自治会を含め、関わりの少なかった自治会や活動へアプローチし、支援に向けた関係づくりを行います。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- ・「見守りネットのば連絡会」「配食事業者等とのミーティング」を引き続き定期開催していきます。
- ・地域活動情報誌をケアマネジャーがケアプラン作成に活用できるよう、働きかけていきます。
- ・エリア内で行われている地域支えあいネットワーク会議やその打ち合わせに出席、地域住民から出た意見等を地域の総合相談ととらえ、地域交流及び生活支援コーディネーターと包括職員が、各専門性を活かして、関係機関と共に活動を支援していきます。
- ・地区民児協・地区社協の協力を得ながら、地域住民により包括支援センターの理解が深まるような出前講座を開催していきます。
- ・「のば元気のちかみちネットワーク」を展開し野庭地域の介護予防活動の拡充に取り組みます。

②実態把握

- ・閉じこもりや見守りの必要のある方（要援護者）などは、関係機関と連携し実態把握に努めます。
- ・地域住民の集まりや事業開催時などにアンケートを実施し、実態把握に努めます。生活支援体制整備事業とも連動させ、地域の方々の心配事や要望等、地域のニーズを今後の事業展開に活かします。
- ・地域の活動情報、介護予防事業、インフォーマルサービス等の地域資源を積極的に把握、集約し地域に還元できるように努めます。
- ・野庭エリアの各種統計資料や相談業務、CP事業、介護保険事業等から得られる情報を集約し地域課題抽出に積極的に活用します。

③総合相談支援

- ・地域の活動情報、介護予防事業、インフォーマルサービス等の地域資源を情報提供し相談対応に活かします。必要に応じ関係機関や制度につながります。
- ・相談窓口や自主事業、出前講座等を通して高齢者のニーズ把握に努めます。
- ・相談内容を分析し、地域に還元できる情報としてまとめます。また、事業展開するための情報源として生活支援体制整備事業にも活用していきます。
- ・相談内容により、区役所、医療機関など関係機関との連携、連絡調整を臨機応変に行ない、スムーズな解決へ導けるよう努めます。
- ・定期カンファレンスを開催し、区や区社協職員などと情報共有し、統一した方向性で支援ができるよう努めます。複合的な問題には、医療機関や民生委員など関係機関との連携にも努めます。
- ・切れ目ない相談対応をするため、職員間の速やかな情報共有（相談票管理を含め）に努めます。
- ・相談後もフォローすることをPRし、必要に応じて継続支援をしていきます。

（２）権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ケアプラザ事業や出前講座、サロン等の機会に、成年後見制度のパンフレットを活用、情報発信し普及啓発に努めます。また、消費者保護や権利擁護に関する情報提供を行い、相談機関としてのPRも積極的に行います。
- ・区、警察と地域をつなげ、悪質商法被害、振り込め詐欺の予防や被害防止、普及啓発を行い防犯意識を高めていきます。
- ・相談内容に応じて区役所・区社協をはじめ、関係機関と連携し、成年後見制度の手続き、申立てが適切に行えるよう支援します。

②高齢者虐待への対応

- ・介護者の孤立防止と休息、介護者同士の交流（介護者のつどい）を図るなど虐待防止に向けた取り組みを推進します。
- ・地域住民、民生委員やケアマネジャーなどに虐待防止に関する普及啓発（気付きの目）を積極的に行い関係機関が連携し早期発見に努めます。
- ・虐待の疑いがある相談を受けた場合、関係機関と連携をして情報収集を行い、速やかに区役所に報告します。又それぞれの役割を確認した上で連携し、適切に対応します。相談後も継続的なフォロー体制（家族支援含む）を整えていきます。

③ 認知症

- ・ 認知症の正しい理解の促進のため、普及啓発等（認知症サポーター養成講座など）を地域の認知症キャラバンメイトと協力し積極的に行います。
- ・ 普及啓発は地域住民に留まらず、若い世代（小中学生）や企業・職域団体にも積極的に行います。その際、関係機関が連携出来るよう働きかけていきます。
- ・ 野庭エリアキャラバンメイト連絡会を開催し、認知症普及啓発活動やネットワークづくりについて考え取り組みます。
- ・ なごみの会（介護者のつどい）を開催し、介護についての勉強会や情報交換など、介護者同士の交流の機会を設け、介護者が孤立しないよう働きかけます。介護経験者やボランティアの協力を得て支援体制の充実をはかります。
- ・ 認知症の人や家族を支える仕組み等、認知症に関する情報を発信し、周知していきます。
- ・ 居宅介護支援事業所、区役所、地域福祉保健活動団等と連携し、必要に応じて訪問やカンファレンス等を開催し、多職種アプローチによる継続的な支援に努めていきます。
- ・ のば見守りネットワークの協力事業者・団体と連携し、認知症の方や家族が日常生活においても理解や支援が得られる環境づくりに努めていきます。

（３）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ 「見守りネットのば連絡会」で地域住民、事業者と共に、支えあいマップを作成していきます。
- ・ 「のばあんしん登録」「ひまわりホルダー」事業を地域住民に周知し、地域で行うゆるやかな見守り活動を推進していきます。
- ・ 配達業者等と定期的に情報交換を行います。
- ・ ケアマネジャーが「地域活動情報誌」を活用してケアプラン作成できる支援をしていきます。
- ・ 「民生委員とケアマネジャー連絡票」の活用を推進していきます。
- ・ ケアマネジャーがインフォーマルサービスの一つとして位置づけることができるよう、地区社協とより積極的な関わりを行っていきます。
- ・ ひとり暮らし高齢者見守り事業への協力を引き続き行っていきます。
- ・ 担当エリア内の民児協向けに適宜、研修協力をしていきます。
- ・ 港南ひまわりプラン及び各地区別の地福計画の推進に向けて関係機関・関係団体との情報交換・情報共有に努めながらニーズを把握し、地域活動を支援していきます。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・ 「港南区医療機関情報シート」がケアマネジャーと医療機関との連携に活用できるような支援を引き続き行っていきます。
- ・ 地域ケアプラザ協力医からアドバイスを頂きながら、地域包括ケアの推進を行います。
- ・ 今年度も区内開業医、ケアマネジャー、サービス提供事業者等のネットワーク構築、専門性の向上を目的として、「医福ネット港南」の開催支援を行うとともに、エリア内居宅介護支援事業所に、参加の働きかけを積極的に行っていきます。
- ・ 単身高齢者や高齢者夫婦のみという世帯が多いエリアであり、加齢に伴い医療・介護の必要性がある世帯も多くなってきています。港南区在宅医療相談室の活用し、住み慣れた地域で継続して生活できるよう支援していきます。

③ ケアマネジャー支援

- ・ ケアマネジャーからの相談に随時対応していきます。
- ・ 様々なケースに対応するケアマネジャーのスキルアップのために、何が必要なのかを探りながら丁寧に対応していきます。
- ・ 区カンファレンスへの積極的参加をすすめ、情報共有し支援の方法を共に考え、ケアマネジャーの役割について助言していきます。
- ・ 個人の自立に向け、特に要支援認定を受けている方のケアプラン作成を委託しているケアマネジャーに対し、生活支援及び地域活動交流コーディネーターと共有した地域の生活支援の情報提供を行います。
- ・ 困難事例の担当者会議の開催支援を行います。
- ・ 今年度も区内包括主任ケアマネ、区との共同で新任ケアマネ研修を開催予定。施設見学と研修を計画していきます。
- ・ 新任ケアマネジャー研修を受けたケアマネジャーが、継続して学べる機会が持てるような自主勉強会の立ち上げを支援していきます。
- ・ 区ケアマネ連絡会に出席。事務局会議の内容は区内包括主任ケアマネで共有していきます。また区ケアマネ連絡会に入会しているケアマネジャーと研修等を共同開催していきます。(奇数月開催予定)
- ・ ケアマネサロンを2ヶ所のケアプラザで実施。情報提供、共有の場としていきます。
- ・ 中級ケアマネジャー研修を開催します。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・ 「支えあいマップづくり」を行うにあたり、地域住民、事業者共に、地域を支えていくという視点を持てるような研修を実施します。
- ・ 住み慣れた地域で生活し続けるための支援と、それを支える社会基盤の整備を同時に進めていけるよう地域ケア会議を開催します。
- ・ 個別ケース地域ケア会議の開催し、介護保険サービスに限らず、地域のインフォーマルサービスに関わる方等多職種で、地域の課題を分析していきます。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・ 事業対象者、要支援者の主体的な行動や活動意欲を引き出し目標指向型の介護予防プランを作成します。
- ・ 予防プランには介護保険サービスの他に地域の様々な社会資源を活用します。
- ・ 委託先のケアマネジャーが適切なケアマネジメントができるよう介護予防支援業務に関する研修会等を実施し、スキルアップを目指します。
- ・ 委託事業所（居宅介護支援事業所）のケアマネジャーやサービス提供事業者など関係団体の連携のためのネットワーク強化をはかります。又、担当エリアの介護予防活動をはじめとするインフォーマルサービスの情報を積極的に発信します。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・ 地域の高齢者の状態を把握し介護予防のきっかけとなる情報提供や活動への参加につながる支援を積極的に行います。また、介護予防の具体的な取り組み（認知症予防、フットケア、口腔ケア、栄養改善、運動など）に参加できる機会を提供します。
- ・ 講座終了後は、OB会の立ち上げ支援やすでに活動している介護予防活動グループへ参加を促すなど、介護予防の取り組みが継続できるよう支援します。すでに自主化しているグループに対しても活動が継続できるよう支援していきます。
- ・ 地域の高齢者の介護予防活動に関わっている支援者を対象に、介護予防に必要な知識を伝えていきます
- ・ 地域の集会所などで行われている地域活動の情報を把握し積極的に発信します。
- ・ 地域の中で介護予防の取り組みが広がるように、介護予防・生活支援ネットワーク（のば元気のちかみちネットワーク）の構築に力を入れます。そのために、関係機関の連絡会や交流会を開催します。
- ・ あらゆる世代が健康に対し関心をもち健康づくり活動に参加することができるよう地域出前講座（健康づくり・介護予防等）や健康講座を開催します。
- ・ 元気づくりステーション事業に関しては、地域の現状を把握し、課題を抽出した上で区役所と連携し必要な支援を行います。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・ 設備、備品における長年の使用による劣化や、不備等の発生が多くなってきています。不備等が発生した場合は、行政と連携して支障がないように迅速に対応していきます。
- ・ 利用者、来館者が安全、安心、快適にご利用頂ける様、建物、施設内の設備機器、備品類等の管理、メンテナンスに努めていきます。
- ・ 施設内の日常清掃や手すり、貸し館備品等の消毒を行い、快適にご利用して頂けるように清潔感ある館内であるように努めていきます。
- ・ 野庭地区センターとの複合施設として施設管理、植栽管理等に係る情報共有に努め適正な施設の維持管理に努めていきます。

イ 効率的な運営への取組について

- ・ ケアプラザの事業目標を達成する為に、事業計画、予算を計画的に遂行していきます。
- ・ 事業を効率よく運営していく為、職員同士が円滑にコミュニケーションできる、所内で各種情報を共有できる環境づくりに努めていきます。
- ・ 職員一人ひとりが、予算内での適正運営を行っていくことの共通認識を持ち、事業運営、光熱水費等の経費削減に努めていきます。

ウ 苦情受付体制について

- ・法人共通の「苦情解決取り扱い要綱」に則り、寄せられた要望・苦情に関しては、迅速かつ適切に対応していきます。
- ・受付窓口、デイルームに、苦情・要望の対応方法等をわかりやすく説明した「苦情解決の仕組み」を掲示しています。
- ・事務所受付やデイサービス洗面所に設置しているご意見箱やご意見ダイヤルの案内を掲示して、来館者、利用者の要望・苦情を寄せやすくしています。
- ・広報紙やホームページに、ケアプラザに対するご意見、ご要望用のメールアドレスを掲載して、幅広く地域からの声が拾える体制を整えています。
- ・接遇に関する職員研修を実施して、利用者一人ひとりに満足して利用して頂ける施設を目指していきます。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・災害発生時には、災害応急マニュアルに則り運営しています。
- ・特別避難場所として、食料・避難物資等の不足がないように災害応急備蓄を計画的に整備していきます。
- ・事故や感染症発生時に、迅速かつ適切に対応できるようにリスクマネジメント研修を実施していきます。
- ・施設内及び外部での緊急事態に備えて AED を設置しています。
- ・警備会社による機械警備を実施しています。異常時には、24 時間、警備員が施設に急行する体制を整えています。
- ・野庭地区センターとの合同防災訓練を 2 回実施します。

オ 事故防止への取組について

- ・事故発生時は、ヒヤリハット・事故規定に則り、カンファレンスを開催して対応策等の情報を共有し再発防止策を実施していきます。
- ・ヒヤリハット事例は、部署内だけではなくリスクマネジメント委員会でも分析、対応策等の検討を行い所内全体で共有、事故の未然防止に努めていきます。
- ・法人各施設の職員で構成されたリスクマネージャーを中心に事故事例や、事故防止の取組みを検討、事故対応、防止策の統一事項を、職員に提言、周知に努めていきます。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・「個人情報保護管理規程」に則り、保有する個人情報を適切に取り扱っていきます。
- ・個人情報が記載されている物の取扱いを慎重に行い、漏洩防止に努めていきます。
 - ア) 施錠のかかる棚、引き出し等への保管徹底
 - イ) F A X 送信取扱い時に複数によるダブルチェック、個人が特定できないようマスキングを実施
 - ウ) 各部署で管理している U S B の保管状況確認一覧を作成し、管理ナンバーを付けてのデータ内容把握、保管管理場所の徹底
 - エ) ケアプラザ所有携帯電話、P C データ漏洩防止の為、各自の暗証番号を設定、セキュリティによる管理の徹底
 - オ) 裏紙再利用の際、複数によるダブルチェックの徹底
- ・個人情報、プライバシー保護に関する研修を開催します。
- ・マイナンバーの取扱いに関しては、施設業務において厳格に対応していきます。

キ 情報公開への取組について

- ・ 広報紙、ケアプラザ便りを定期発行していきます。
- ・ ホームページを活用し、ケアプラザ最新情報、各種事業案内等を公開していきます。
- ・ 事業報告、事業計画、各種要綱等は、受付窓口にて閲覧できるようにしています。
- ・ 野庭地域ケアプラザ運営協議会を開催し、事業計画、報告、懸案議題、地域ケア会議等の意見交換を行い、運営委員の方々との情報提供・情報共有の場とします。
- ・ ケアプラザ各部署で実施した利用者アンケートは、集計・分析したものを情報開示していきます。

ク 人権啓発への取組について

- ・ 地域支援やケアマネージメント・相談業務等に携わる職員として、人権配慮が、態度や行動に現れるような感覚を持てるように、人権尊重の理念についての理解を深めるようケアプラザ全体で努めていきます。
- ・ 人権尊重の大切さや人権について考えるきっかけとなる内容を盛り込んだ広報紙等を、様々な機会に配布・掲示していきます。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ 管理標準に則り、環境等への配慮に取り組んでいきます。
 - 適切な冷暖房の使用に心がけ、館内の空調が適正温度となるように努めます。
 - 使用していない部屋の消灯に心がけます。
 - 不使用時の印刷機・パソコン等は電源を落とすよう心がけます。
- ・ フロン排出抑制法に則り、対象機器の適正な使用環境を維持、確保し管理、点検に努めていきます。
- ・ 建物周辺・野庭中央公園のゴミ回収等を毎日行います。
- ・ 植栽の維持管理は、外部業者に委託し良好な景観保持に努めます。
- ・ 「ヨコハマ 3R 夢」を推進し、資源ゴミの分別排出を職場内で徹底していきます。
- ・ 印刷機のトナー等はリサイクルで対応していきます。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者（保健師等と兼務）	1名
保健師等	1名
社会福祉士	2名
主任ケアマネジャー	1名
ケアマネジャー	1名

《目標》

- ・社会資源の情報集約・発信・プランへの活用を促進します。
- ・関係団体とのネットワークを強化します。
- ・介護予防ケアマネジメント力の向上に努めます。

【具体策】

- ・事業対象者、要支援者の主体的な行動や活動意欲を引き出し目標指向型の介護予防プランを作成します。
- ・予防プランには介護保険サービスの他に地域の様々な社会資源を活用します。
- ・委託先のケアマネジャーが適切なケアマネジメントができるよう介護予防支援業務に関する研修会等を実施し、スキルアップを目指します。
- ・委託事業所（居宅介護支援事業所）のケアマネジャーやサービス提供事業者など関係団体の連携のためのネットワーク強化をはかります。又、担当エリアの介護予防活動をはじめとするインフォーマルサービスの情報を積極的に発信します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・介護予防講座「元気のちかみち2017」、のば健康講座、ロコモ予防講座、健康出前講座を開催します。
- ・介護予防・生活支援NT「のば元気のちかみちネットワーク 交流会」にて関係団体との意見交換等で総合事業を推進し多様なサービスが活用できる地域づくりをします。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
185	185	185	185	185	185
10月	11月	12月	1月	2月	3月
185	185	185	185	185	185

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（常勤兼務） 1名
 介護支援専門員（常勤） 3名
 介護支援専門員（非常勤） 3名

《目標》

- ・各種相談に迅速に対応ができるように事業所内での情報共有や、関係機関との連携を強化していきます。
- ・医療依存度の高い方、ターミナルケアの受け入れを積極的に行います。適切なプラン作成のための医療知識の習得に努めていきます。
- ・地域包括、生活支援との連携を深め、社会資源を盛り込んだ自立支援を目指すケアプランの作成に努めます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・地域包括支援センターの受託法人の居宅支援事業所として、地域包括・区役所高齢障害担当ケースワーカーとの連携を密にとりながら、支援困難な事例にも積極的に対応していきます。
- ・地域の取り組みを実際目で把握し、介護保険以外の社会資源も対象者には積極的のご提案していきます。自立の意識が持てるようなプランの作成に努めます。
- ・医療機関との連携も強化し、医療依存度の高い方も積極的に受け入れ、ご本人の安楽と、ご家族のメンタル面でのケアにも誠意をもって対応していきます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
161	161	161	161	161	161
10月	11月	12月	1月	2月	3月
161	161	161	161	161	161

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- ・健康チェック、入浴、食事、清潔、排泄ケア 個別機能訓練、介護者相談
- ・日常生活上の支援

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	1割負担分	2割負担分
（要介護1）	692円	1383円
（要介護2）	817円	1634円
（要介護3）	947円	1893円
（要介護4）	1077円	2153円
（要介護5）	1206円	2412円

- 食費負担（おやつ含む） 710円
- 有償サービス 紙パンツ120円、紙パット50円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》9：30～16：30

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
生活相談員	2名（介護福祉士）常勤専従1名 常勤兼務1名
看護職	5名（看護師）常勤専従1名 非常勤兼務4名
介護職	12名（介護福祉士等）常勤専従1名 非常勤専従11名
機能訓練指導員	5名（看護師）常勤専従1名 非常勤兼務4名
運転手 事務員	7名 非常勤

《目標》

- ・自立支援に向けて、入浴、食事、趣味娯楽、個別機能訓練などを介護職・専門看護職がプランを作成しサービス提供いたします。
- ・ご利用者の意見を尊重し少人数レクリエーション、クラブ活動や趣味活動のプログラム支援を行います。
- ・利用者事故ゼロを目標に、リスクマネジメントや避難訓練の実施について取組みます。
- ・ご利用者が明るく楽しく生き甲斐を持って過ごして頂けるよう工夫していきます。
- ・ご利用者のニーズに対応できるよう、常にサービス向上を目指していきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ご利用者が在宅生活を継続できるように、個別機能訓練等で可能な動作を最大限に活かし脳の活性化・手先を鍛える・身体を鍛える・身体を癒す等のリハビリに繋がるようプログラムを選択し、楽しんでまた意欲的に行えるような支援に努めていきます。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
968	1002	968	1002	1002	968
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1002	968	884	884	884	1002

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- ・介護者相談・健康チェック・入浴・食事・清潔・排泄ケア
- ・運動器機能訓練：歩行訓練・階段昇降・転倒予防運動（各種の用具使用）
- ・生活機能向上グループ活動：グループ体操・創作活動

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	1割負担分	2割負担分
要支援1	1766円	3531円
要支援2（週1回）	1776円	3531円
要支援2（週2回）	3621円	7241円

- 食費負担（おやつ含む） 710円
- 有償サービス 紙パンツ120円、紙パット50円

《事業実施日数》対象者が通所している曜日、週7日（生活向上グループ活動実施）

《提供時間》 9：30～16：30 但し、途中でも自由に帰宅できます

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
生活相談員	2名（介護福祉士）常勤専従1名 常勤兼務1名
看護職	5名（看護師）常勤専従1名 非常勤兼務4名
介護職	12名（介護福祉士等）常勤専従1名 非常勤専従11名
機能訓練指導員	5名（看護師）常勤専従1名 非常勤兼務4名
運転手 事務員	7名 非常勤

《目標》

- ・「本人のできることはできる限り本人が行う」ことが重要であり、運動器機能向上や社会と積極的に接する機会を提供することにより自立支援を促していきます。その結果を、評価シートを用いてフィードバックしていきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・専門技術を学んだ職員が階段昇降台、ペダルこぎ、平行棒を新たに増やし筋力アップ等の運動器機能向上を図ります。
- ・万歩計を使い数字をご自分でカードに記入していただくことで飽きない工夫を凝らし、楽しくできるように配慮していきます。
- ・在宅生活が継続できるように、脳の活性化、手先を鍛える、身体を鍛える、身体を癒す等のリハビリに繋がるプログラムを行っていきます。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
5	5	5	5	5	5
10月	11月	12月	1月	2月	3月
5	5	5	5	5	5

平成29年度 「横浜市野庭地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（一般会計）

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,894,863	0	13,894,863		13,894,863	横浜市より（施設使用料相当額を除く）
利用料金収入			0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	65,901		65,901		65,901	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（施設使用料相当額）	3,587,500		3,587,500		3,587,500	第3期の指定管理施設のみ
その他（法人負担分）	3,587,500	0	3,587,500	0	3,587,500	第3期の指定管理施設のみ
収入合計	13,960,764	0	13,960,764	0	13,960,764	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,109,159	0	13,109,159	0	13,109,159	
本俸	8,612,718		8,612,718	0	8,612,718	
社会保険料	1,192,933		1,192,933	0	1,192,933	
手当計	3,080,652		3,080,652	0	3,080,652	
健康診断費	65,546		65,546	0	65,546	
勤労者福祉共済掛金	13,109		13,109	0	13,109	
退職給付引当金繰入額			0	0	0	
その他	144,201		144,201	0	144,201	
事務費	990,954	0	990,954	0	990,954	
旅費	6,800		6,800	0	6,800	
消耗品費	175,000		175,000	0	175,000	
会議賄い費	1,900		1,900	0	1,900	
印刷製本費	82,500		82,500	0	82,500	
通信費	272,500		272,500	0	272,500	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	12,000		12,000	0	12,000	
振込手数料	10,000		10,000	0	10,000	
リース料	62,000		62,000	0	62,000	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	368,254		368,254	0	368,254	
事業費	62,500	0	62,500	0	62,500	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	指定額
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	20,500		20,500	0	20,500	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	3,059,900	0	3,059,900	0	3,059,900	
建築物・建築設備点検			0	0	0	指定額
光熱水費	1,637,800	0	1,637,800	0	1,637,800	
電気料金	440,568		440,568		440,568	
ガス料金	443,844		443,844		443,844	
水道料金	753,388		753,388		753,388	
清掃費	492,000		492,000	0	492,000	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	
機械警備費	57,800		57,800	0	57,800	
設備保全費	401,300	0	401,300	0	401,300	
空調衛生設備保守	252,000		252,000	0	252,000	
消防設備保守	24,500		24,500	0	24,500	
電気設備保守	27,800		27,800	0	27,800	
害虫駆除清掃保守	8,000		8,000	0	8,000	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	89,000		89,000	0	89,000	
共益費			0	0	0	
その他	3,000		3,000	0	3,000	
公租公課	1,048,733	0	1,048,733	0	1,048,733	
事業所税			0		0	
消費税	1,048,733		1,048,733	0	1,048,733	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	18,271,246	0	18,271,246	0	18,271,246	
差引	4,310,482	0	4,310,482	0	4,310,482	

平成29年度 「野庭地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書 (特別会計)

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料 (包括)	28,569,000		28,569,000		28,569,000	横浜市より
指定管理料 (介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料 (生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	50,998		50,998		50,998	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他 ()			0		0	
その他 ()			0		0	
収入合計	34,559,998	0	34,559,998	0	34,559,998	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	33,395,023	0	33,395,023	0	33,395,023	
本俸	23,251,379		23,251,379		23,251,379	
社会保険料	4,544,714		4,544,714		4,544,714	
手当計	4,946,307		4,946,307		4,946,307	
健康診断費	106,691		106,691		106,691	
勤労者福祉共済掛金	39,206		39,206		39,206	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
その他	506,726		506,726		506,726	
事務費	1,173,800	0	1,173,800	0	1,173,800	
旅費	19,500		19,500		19,500	
消耗品費	106,000		106,000		106,000	
会議賄い費	500		500		500	
印刷製本費	20,600		20,600		20,600	
通信費	207,500		207,500		207,500	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	66,700		66,700		66,700	
振込手数料	12,000		12,000		12,000	
リース料	230,000		230,000		230,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	511,000		511,000		511,000	
事業費	1,145,600	0	1,145,600	0	1,145,600	
協力医	630,000		630,000	0	630,000	指定額
介護予防事業	151,000		151,000	0	151,000	
生活支援体制整備事業費	309,000		309,000	0	309,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	55,600		55,600	0	55,600	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	813,720	0	813,720	0	813,720	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	指定額
光熱水費	435,300	0	435,300	0	435,300	
電気料金	117,096		117,096		117,096	
ガス料金	117,966		117,966		117,966	
水道料金	200,238		200,238		200,238	
清掃費	131,000		131,000	0	131,000	
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	
機械警備費	15,362		15,362	0	15,362	
設備保全費	106,848	0	106,848	0	106,848	
空調衛生設備保守	67,000		67,000	0	67,000	
消防設備保守	6,500		6,500	0	6,500	
電気設備保守	7,400		7,400	0	7,400	
害虫駆除清掃保守	2,148		2,148	0	2,148	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	23,800		23,800	0	23,800	
共益費	0		0	0	0	
その他	790		790	0	790	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他 ()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	36,528,143	0	36,528,143	0	36,528,143	
差引	1,968,145	0	1,968,145	0	1,968,145	

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
男性クッキングのば	男性の高齢者	140,168	20,168	120,000	72,168	68,000	0
	10人						
	1000円						
			(内20000円区社協補助)				
どれみの森のお友だち ぶどう	幼児と親	80,000	0	80,000	60,140	19,860	0
	20組						
	400円						
のびのびヨガ教室	高齢者	216,000	0	216,000	168,392	47,608	0
	15人						
	600円						
ベーシックヨガ	高齢者	216,000	0	216,000	168,392	47,608	0
	15人						
	600円						
ママと子のおしゃべりサロン	幼児と親	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	フリー						
	無料						
にこにこ野庭サロン	高齢者	20,000	0	20,000	0	20,000	0
	20人						
	100円/回						
港南なつっこ (港南区社協主催)	障害児	20,000	20,000	0	0	20,000	0
	8人						
	—						
			※区社協補助金				
野庭住宅連合自治会 夏祭り	地域住人	100,000	20,000	80,000	0	100,000	0
	—						
	実費負担						
野庭ふれあいまつり	地域住人	70,000	10,000	60,000	0	70,000	0
	—						
	実費負担						
2017子どもフェスティバル	地域の幼児対象	1,000	1,000	0	0	1,000	0
	—						
	無料						

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
介護予防普及強化事業 元気のちかみち2017 (横浜市委託)	地域住民	(横浜市よりの委託事業として別枠で151,000円)					
	150名						
	0円						
健康チェックコーナー (のばふれあい祭り)	地域住民	(横浜市よりの委託事業として別枠で151,000円)					
	200名						
	0円						
のば健康講座	地域住民	(横浜市よりの委託事業として別枠で151,000円)					
	30名						
	0円						
(介護予防生活支援事業連絡会 のば元気のちかみちネットワーク 交流会)	地域活動団体	2,000	0	0	0	0	2,000
	20名						
	0円						
いつまでも歩ける体づくり講座	地域住民	67,500	0	67,500	67,500	0	0
	135名						
	500円						
見守りネットのば連絡会	関係団体・地域住民	25,000	0	0	20,000	0	5,000
	50名						
	0円						
出前講座	地域住民	0	0	0	0	0	0
	500名						
	0円						
なごみの会 (介護者のつどい)	介護者など	10,000	0	0	0	0	10,000
	40名						
	0円						
認知症キャラバンメイト& サポーター 交流会	地域活動グループ	2,000	0	0	0	0	2,000
	50名						
	0円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業計画書

横浜市野庭地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男性クッキングのぼ	男性が一人暮らしになっても安定した食生活を維持できるように支援すると共に、調理をすることでセカンドライフの充実、地域の仲間作りと交流、野庭ふれあいまつりへのボランティア参加を目的として行います。	平成29年4月から平成30年3月まで全12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
どれみの森のお友だち	子育て支援として音楽や・リズム遊びを取り入れ親子のふれあいを密にし、子育てに関する不安や悩みの解消、母子のストレス発散と仲間作り・子育ての情報交換の場として開催します。	平成29年4月から平成30年3月までの全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のびのびヨガ教室	高齢化による身体の衰えを過剰な運動ではなく、ゆっくりとした運動による動きを中心とした、ヨガにより心身のストレスを解消するために行います。	平成29年4月から平成30年3月まで全24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ベーシックヨガ	初心者向けとして、高齢化による身体の衰えを過剰な運動ではなく、ゆっくりとした運動による動きを中心とした、ヨガにより心身のストレスを解消するために行います。また、参加するために外出の機会を創生します。	平成29年4月から平成30年3月まで全24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママと子のおしゃべりサロン	地域の子育て支援者、保育園等と協力し日頃の子育てに関する悩みや、不安を軽減する仲間作り・憩いの場として開催し、毎回季節感のある行事を実施し親子で楽しんで頂きます。	平成29年4月から平成30年3月まで全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこ野庭サロン	高齢者の外出支援を目的に地域の井戸端会議的な集いを提供する事を目的とします。地域包括支援センター共催。	平成29年4月から平成30年3月まで全10回開催

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
港南なつっこ	港南区社会福祉協議会との協働事業で障がい児余暇活動支援事業の一環として、ケアプラザとして会場の提供を行い夏休み期間中に遊ぶ時間を作り思い出作りをしてもらおうという企画の支援を行います。	平成29年8月7日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野庭住宅連合自治会 夏祭り	野庭中央公園で開催される地域自治会主催の夏祭りに参加し、地域の一員として地域との交流を活発に行うために参加します。 模擬店の内容は子どもを対象とした「おもちゃ」販売を行います。	平成29年8月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野庭ふれあいまつり	地区センターとの共催による事業で子どもから大人まで、地域住民の方が楽しめる企画を予定しております。	平成29年10月1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遊びにおいてよ こどもフェス ティバル 2017	地域の保育園・幼稚園・区役所子育て支援課・港南土木事務所・交通局・消防署・地域自治会・民児協・地区社協等の人的資源が協働し子育て支援として事業を開催します。	平成29年11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野庭住宅社会福祉協議会福祉 チャリティーバ ザーへの参加	地域福祉事業の一環として、野庭住宅社会福祉協議会主宰の野庭中央公園チャリティーバザーに参加し、地域団体と地域住民との交流を目的とし参加します。 また売り上げの一部をバザー協賛金とします。	平成29年12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
団暖会 ぽかぽかハート ネットワーク	地域ケアプラザとボランティアとの関係をよりよくするために勉強会、交流会を開催し、日頃のボランティア活動に対する問題点や希望・要望について意見を伺い、より一層の関係強化を図ることを目的に行います。	平成29年3回 開催予定

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新春お餅搗き大会	地域の一大イベントとしての位置づけから、プラザと地域自治会・地区社協との連携強化を図れる事業の一環となるよう餅つきという伝統行事を通して地域住民との交流の場の提供を行います。	平成30年2月第1又は第2日曜日 予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたの広場	地域の仲間作り支援として季節の歌を中心に童謡や愛唱歌を歌い楽しんでいただくことを目的に開催します。	平成29年6月～平成29年11月ま2回開催 予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てのママのヨガ講座	子育てのママ自身のリフレッシュ・健康保持の目的で開催いたします。	平成29年10月～平成30年3月までに3回開催予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のぼこども食堂	子どもの孤食や居場所作りの支援、地域交流の場として開催いたします。	平成29年4月から平成30年3月まで

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みぢかな芸術家たち	地域のみぢかな芸術家を発掘し、その作品を展示し地域の方たちに観て頂き、文化交流の場を提供することを目的とします。ケアプラザ廊下に展示します。	平成29年4月から平成30年3月まで

平成29年度 自主事業計画書

横浜市野庭地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防支援事業連絡会のば元気のちかみちネットワーク交流会	野庭地域の実情に合わせた多様で柔軟な生活支援のある地域づくり、また介護予防・生活支援活動の活性化と各関係機関、団体のネットワークづくりを目的とし開催します。	平成29年度 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康チェックコーナー (野庭ふれあいまつり)	ケアプラザ・地区センターの合同まつり（ふれあいまつり）で介護予防普及啓発活動として健康チェックコーナーを設け、体組成検査（inbody）を行います。検査の結果をもとに横浜市体育協会講師に日常生活のアドバイスをしてもらい日常生活を振り返りを行います。	平成29年10月 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(介護予防普及強化事業)元気のちかみち2017 (横浜市委託)	高齢者が住み慣れた身近な地域で介護予防を意識し、介護予防の具体的な取り組みを始めるきっかけとなる機会を提供し、日常生活の中で身体状況に応じた介護予防活動を実践する高齢者がふえることを目指し開催します。	平成29年5月～6月 まで 全5回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いつまでも歩ける体づくり講座	介護要因の第2位を占めるロコモティブシンドロームを予防することを目的として開催しました。関節痛予防改善体操を中心に実施します。	平成29年6・10月 平成30年1月 3回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のば健康講座	いつまでも住み慣れた地域で活動的に暮らすことができるよう、健康作りに役立つ情報を提供すること、また、活動的に生活するきっかけ作りとなることを目的とし開催します。	平成29年8月 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
団暖会 ぽかぽかハートネットワーク	地域の中で福祉保険活動を推進していく担い手、原動力となるボランティアの育成支援を目的に開催しました。ボランティア活動を行う上で役立つ情報や活動を継続していくためのお仲間づくりの場を提供します。（勉強会+交流会） *地域交流共催	平成29年度 全4回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なごみの会 (介護者のつどい)	認知症の家族の介護をされている方、ご自身やご家族の介護についてご関心のある方、介護経験のある方などを対象に、他の方と話し合ったり、介護に役立つ勉強会をしたりしながら、気持ちを「なごやか」することを目的として実施します。	10回開催 毎月第2木曜日 (8月・1月は休み)

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	介護保険制度、認知症予防、介護予防、悪質商法や成年後見制度などの普及啓発を目的とした出前講座を随時実施します（認知症サポーター養成講座含）。	平成29年4月～ 平成30年3月 20回程度

事業名	目的・内容	実施時期・回数
見守りネット のば	地域の高齢者の生活の支援、また緊急時における体制を確立するために、地域包括支援センターと配達事業者とで、安否確認のネットワークを構築していくために連絡会を開催します。	平成29年年度 2回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員とケア マネジャーとの 連絡会	地域のネットワーク構築の一環として、ケアマネジャーと民生委員との関係作りを目的に情報交換会を実施します。	平成29年度 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症キャラバン メイト& サポーター 交流会	野庭エリアキャラバンメイトとサポーターの交流会を開催し、認知症普及啓発活動やネットワークづくりについて考え取り組みます。	平成29年度 1回開催